



先土器時代

先土器時代は京都盆地のほとんどが湖底になってしまっており、逆に現在の山地・台地が生活の場となっていました。そのため、西京区ではこの時代から生活の場として人が生活していました。

おおえ
大枝遺跡、大原野神社遺跡などからナイフ型石器などが発見されている。



平安時代

794年の平安京遷都後は西京区は都の郊外として性格を強め、この頃には丹波国との国境となる老ノ坂（大枝の坂）には鬼が出るという言い伝えが言われるようになりました。また、多くの貴族の別荘地が建設される場所にもなっており、藤原道長が桂に山荘を建設し、和歌の会を催したりもしています。その伝統が近世の桂離宮に及んでいます。

縄文・弥生時代

湖底が隆起し、盆地が形成されて生活の場が低地に移動。西京区にはあまり人が住まなくなっていました。

遺跡が数箇所しか発見されていない。



古墳時代

農業技術が進歩して水田が高所で乾燥した土地でも営めるようになり、また、古墳は見晴らしのいい場所に作られることが一般的でした。そのため、西京区にも多くの古墳が作られており、豊かな歴史と文化が花開いた地域となっていました。

古墳時代の遺跡が50箇所発見されている。古墳時代前期には全長が100mにも及ぶ大型の前方後円墳（妙見山古墳、一本松塚古墳、寺戸大塚古墳）などが作られており、それらの古墳では魏より邪馬台国にもたらされたという三角縁神獣鏡が出土していることから、邪馬台国を支えた豪族が居住していたと推測される。

西京区の昔

～先土器時代から 平安時代まで～

※参考文献：史料京都の歴史15（西京区）

／編集：京都市

奈良時代

784年の長岡京（石見上里村
は旧長岡京の一部）遷都により、いわば片田舎に過ぎなかった西京区が一挙に都市近郊の町となり、都の先進的な文化に触れることができるようになりました。



長岡京遷都は桓武天皇の生地であった百濟系渡来人氏族であり、その影響を長岡京遷都後、天災や近親者の不幸があると判断されるのを恐れて、わずか10年で平安京に遷都している。

飛鳥時代

朝鮮半島を母国とする渡来人の文化・文明、農業技術が西京区に大きな影響を与えました。

具体例

- ・渡来系氏族である秦氏に関係する秦都理が701年に松尾大社を創建。
- ・7世紀半ばに建立された櫻原廃寺は高句麗系の伽藍配置をとる寺院。



松尾大社の祭り・神幸祭・還幸祭・八朔祭・節分祭



多くの参拝者で賑わう松尾大社の節分祭。猛々しい掛け声とともに迫力ある日本の伝統を楽しみながら観ることができます。また、年間を通して行われる様々な祭儀が、五世紀から続く、松尾大社の歴史の深さを物語っています。



コトコト
八朔祭は毎年9月の第一日曜日に行われる京都で最後の夏祭りで、前日の土曜日より盛大に諸行事が実施されます。夏の締めくくりに是非、足を運んでみてはいかがでしょう！

自衛隊桂駐屯地のイベント・桂さくら並木公開・納涼夏祭り・創立記念行事



満開のさくらが見られる「桂さくら並木公開」、江州音頭や河内音頭など様々な盆踊りに迫力ある太鼓の演奏と花火が楽しめる「桂駐屯地納涼夏祭り」、秋の「桂駐屯地創立記念行事」では、訓練展示など様々なアトラクションをご覧いただける見どころ満載な行事が行われています。

(※詳細に関しては、桂駐屯地HPを御確認下さい。)

コトコト
創立記念行事では、見た人の心を驚かせる迫力あふれる観閲行進や装備品の展示、音楽隊の演奏などが実施されています。また、桂さくら並木公開及び納涼夏祭りでは、隊員さんたちが野外売店を出店し、毎年行列がでています！



らくさいさくら祭



小畠川に沿って美しく咲きそろう桜並木を見て愉しむイベント。

竹結びフェスタ



京都市・向日市協働イベント。ジャズ演奏や二胡演奏など様々な音楽を楽しむことができます。

洛西グラシアス・バル



仮装コンテストや仮装パレードが行われる洛西地域でのハロウィンイベント。

桂ヴィレッジフェス



西京区にゆかりのある人たちの手で作り上げた、地域を知るためのお祭りです。

西京区民ふれあいまつり



プラスバンドや和太鼓、美味しい飲食模擬店など、多彩な催しでにぎわう区民のお祭りです。

風土・food 大原野



大原野神社で飲食ブースや竹太鼓などのコンサート、大原野産野菜の品評会なども実施されます。